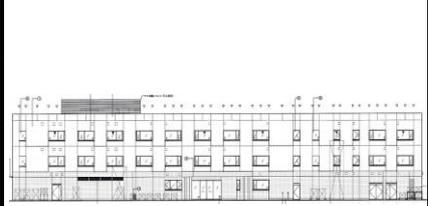


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	神奈川県立体育センター等特定事業(宿泊棟)	階数	地上3F
建設地	神奈川県藤沢市善行7丁目3347番1他	構造	RC造
用途地域	第二種中高層住居専用地域、準住居地域、準防火地域	平均居住人員	170人
地域区分	6地域	年間使用時間	7,368時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年1月 予定	評価の実施日	2018年3月5日
敷地面積	7,184㎡	作成者	清水建設株式会社一級建築士事務所
建築面積	1,054㎡	確認日	2018年3月5日
延床面積	2,970㎡	確認者	清水建設株式会社一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
陸上競技場側の桜並木を保存するとともに、敷地内主動線に面した『木もれびテラス』を設置し、利用者の休憩スペースとして整備する。1階の陸上競技場側に誰でも利用できる食堂を設け、地域の交流の場を創出する。全室車いすで利用できるトイレ、洗面、浴室のある宿泊室とするとともに、共同浴室、廊下も車いすで利用できるスペースと設備を備えた計画とする。		
Q1 室内環境 Low-Eガラスの採用、断熱材の強化により外皮性能を上げているなど、温熱環境に配慮している。	Q2 サービス性能 補修必要間隔の長い外壁材、配管材を採用するなど、建物の耐用性・信頼性に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地を設けることにより、良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げ材の分別を考慮し、乾式工法を採用することで部材の再利用可能性向上に配慮している。	LR3 敷地外環境 広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される